

平山郁夫 世界遺産 高句麗古墳を描く

再現 高句麗古墳壁画
(高精細技術による古墳壁画の復元)

2012 3.16 FRI — 6.25 MON

10:00a.m — 5:00p.m

休館日／火曜日（祝日の場合は開館）5月1日は開館

入館料／一般1200円／高・大学生800円／小・中学生無料

※障害者手帳をお持ちの方無料、介護の方1名まで600円

※70歳以上の方、20名様以上の団体 各100円割引

主催 公益財団法人 平山郁夫シルクロード美術館

後援 山梨県 山梨県教育委員会 北杜市 北杜市教育委員会

山梨日日新聞社・山梨放送 信濃毎日新聞社 ハッ岳ジャーナル

NHK甲府放送局 テレビ山梨 エフエム富士 エフエムハッ岳

協力 東京藝術大学、北杜市郷土資料館浅川伯教・巧兄弟資料館

協賛 キリンビール

平山郁夫シルクロード美術館 ニュース

No.

14

平成24年
3月30日発行

平山郁夫が世界遺産の登録に尽力した高句麗古墳。東京藝術大学では高精細のデジタル手彩色によって高句麗古墳壁画を復元しました。3年の月日をかけて完成した同寸大の江西大墓の墓室を初公開します。さらに平山郁夫が描いた朝鮮各地の風景、人物などを紹介します。



高句麗古墳



東京藝術大学初の特許取得技術を初公開!!

■講演会・シンポジウム

2012年4月28日〔土〕

「文化による世界交流」

宮廻正明

（東京芸術大学大学院教授）

「再現高句麗古墳壁画

～創造と再生」

染谷香理

（東京芸術大学大学院非常勤講師）

狩俣公介

（東京芸術大学大学院非常勤講師）

文 眞英

（東京芸術大学大学院非常勤講師）

北杜市

朝鮮と関わり深い北杜市出身の浅川伯教・巧兄弟。

資料館から作品数点をお借りして特別コーナーを設けます。



同時開催

東アジアの小さな仏たち 〔展示室1.4.5〕



菩薩坐像 唐時代(8世紀)

当館所蔵の東アジア（中国・朝鮮半島・日本）の仏教美術コレクションを公開いたします。本展では「小さな仏」をコンセプトに、初公開の名品を中心に金銅仏や仏画など約20点を集めました。東アジアの信仰の結晶というべき小さくて愛らしい仏たちをご覧ください。

北朝鮮の思い出

平山美知子

1968(昭和43)年、平山は消失した法隆寺金堂壁画の模写に加えていただき、三号壁模写に従事することが出来ました。ですので、法隆寺壁画に一番近いといわれる高句麗古墳の壁画を見たいという思いは、ずっと持ち続けていたのです。

それから三十年たつて、北朝鮮との交流を続けておられる高句麗会の伊藤利光事務局長との友好のおかげで、平山はユネスコ親善大使ということで、日本ユネスコ代表団、NHK、保有に協力できるプロの方十二名と一緒に、高句麗古墳の現状視察をすることができました。1997年十月六日に出発しましたが、北朝鮮と日本は国交がないので、まず中国にゆき、北京

の北朝鮮事務所まで渡航のためのビザを取り、高麗航空で平壤に到着しました。

入国の手続きは時間がかかりましたが、ユネスコの方の迎えもあつたので無事入国できました。飛行機を降りた時、小さな花束をくれたので私達の歓迎と思つたのですが、平壤市内の入り口に立つ金色の大きな金日成像にお供えするためのものでした。ホテルは平壤市内を流れる大同江の中州に建つ開業一ヶ月の羊角島国際ホテルで、大きくて立派ですがサービスはなかつたと思います。街を見学に出かけることも出来ませんでした。平壤の町は明るく平穩に見えました。

北朝鮮ユネスコ民族委員会の迎賓館にご招待下さつ

たとき、平山は高句麗古墳壁画を世界文化遺産に登録することを薦めましたが、登録するのに必要な書類等を整えるのに二年はかかるということでした。その後、平山と私は十一

回も北朝鮮を訪問し、高句麗古墳壁画研究センターの基金を寄附し、高句麗古墳の世界遺産登録に協力しました。2004年その念願はかないました。

北朝鮮は何をおいても金日成様なので万景台(誕生の地)などを案内されますが、私は高句麗古墳を見たいと主張しました。見学した高句麗

古墳はすばらしく、私は壁画に感動して帰国しました。

2001年七月には北朝鮮から五人の先生方をお招きし、高松塚古墳を見ていただくなどしましたが、北朝鮮は一向に近くなりません。2005年の訪朝には、今の平山郁夫シルクロード美術館の渡邊明義理事や九州国立博物館の三輪嘉六館長も同行して下さいました。日本語の上手な張徹副総理(早稲田大学卒業)は日本のこともよく知っておられ、お目にかかるとほつとしたのですが亡くなられ、日本にとって大事な方だつたと思うと残念です。平山も亡くなり、北朝鮮は遠い国になりました。



2005年4月 徳興里古墳を背景に立つ平山夫妻

Collection コレクション紹介 —地蔵菩薩立像—

地蔵菩薩は釈迦が入滅して弥勒菩薩が現れるまでの間、極楽に行けず地獄で苦しむ人々を救済する仏です。私たちの生活の中では「お地蔵様」として比較的身近な存在だと思います。本像も円満にして涼やかな表情で、迷い苦しむ人を受け入れてくれるような穏やかな風格が漂っています。右手に錫杖、左手に宝珠を持ち、僧衣に金箔が残ります。鎌倉時代の典型的な形体を示し、当時活躍した慶派仏師の作風を彷彿とさせる名品です。

(「東アジアの小さな仏たち展」にて初出品予定)



鎌倉時代(13-14世紀) 寄木造、像高36.0cm

美術館活動のご報告

9月17日

オクサーナ・ステパニウツクコンサート

ミュージアム・コンサートとしてお馴染みとなったシルクロードの歌姫オクサーナ・ステパニウツクさんによるコンサート。美しいソプラノと民族楽器バンドウラの奏でる旋律に時を忘れて酔いしました。

10月8日

染色教室「秋色に染めよう」

講師：中村まり子
栗やクルミを煮出して染めた布に可愛いうぐすのモチーフをプリントした作品を作りました。

10月28日

オープニング・チェロコンサート

「古代メソポタミア文明展」オープニングセレモニーにおいて西谷牧人さん（東京交響楽団首席チェロ奏者、東京藝術大学非常勤講師）によるチェロ・コンサートを開催しました。来館者には西谷氏の軽妙な語りとともに美しいチェロの響きを堪能していただきました。



11月23日

月本昭男 講演会

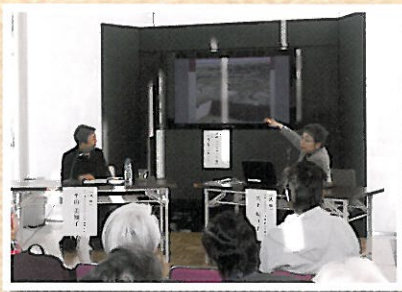
講師：月本昭男
（立教大学教授、日本オリエント学会会長）
題目：粘土板文書から読み解く
古代メソポタミアのくらし

12月10日

石田恵子、宮下佐江子 平山館長 講演会

1部
講師：石田恵子
（古代オリエント博物館研究部長）
題目：円筒印章にみられる
メソポタミア世界

2部
講師：宮下佐江子
（古代オリエント博物館学芸部長）
平山美知子
（当館館長）
題目：対談 メソポタミア紀行



第3回

絵手紙コンテスト受賞者一覽

絵手紙コンテストの開催も今年度で3回を迎えました。昨年に引き続き皆様から昨年を上回る488通のご応募をいただきました。

2012年1月、平山美知子館長による審査の末、41名の入賞が決まりました。受賞者は以下の方々です。おめでとうございます。受賞者には3月に表彰式を予定しております。ご参加をお待ちしております。



最優秀賞 2名

平山 敬（埼玉県上尾市）
川瀧 啓介（山梨県甲府市）

優秀賞 13名

本郷 利恵（東京都江戸川区）
林 希実（千葉県八千代市）
林 栄子（千葉県八千代市）
北原 梢（東京都東久留米市）
高橋 康祐（千葉県松戸市）
藤井 静夫（東京都新宿区）
岩田 千江子（神奈川県横浜市）
森田 麻里帆（千葉県三鷹市）
池田 瑞枝（山梨県北杜市）
秋山 颯一郎（山梨県厚木市）
三浦 光（埼玉県所沢市）
富岡小学校2年

入選 26名 特別賞 1名

浦井 サカエ（京都府相楽郡笠置町）
坂田 昌代（名古屋市中区）
宮前 緑（東京都板橋区）
藤野 良樹（東京都板橋区）
田村 くみ子（京都府城陽市）
日比野 亜希子（愛知県稲沢市）
日比野 圭祐（愛知県稲沢市）
杉 美奈子（奈良県生駒市）
中山 幸三（山梨県北杜市）
関戸 勝（山梨県南アルプス市）
千恵子（神奈川県相模原市）
務台 直子（東京都杉並区）
川瀧 紗英子（山梨県甲府市）
岩藤 真衣（埼玉県甲府市）
権左 佳彦（立教女学院中学校3年）
大村 美晴（自主学校「遊」9年）
北川 桃子（神奈川県横浜市）
武田 蓮星（横浜双葉小学校6年）
山崎 貴矢（東京都杉並区）
川上 英寿（山梨県甲府市）
今村 優大（山梨県中巨摩郡昭和町）
村津りょうま（山梨県北杜市）
栗原 聖明（高根西小学校2年）
大川 祐樹（芝浦小学校2年）
秦野 友伽（山梨県北杜市）
森 岳人（小泉保育園年長さくら組幼稚園）
渡邉 真観（東京都港区）

例年山梨県北杜市の小学生を対象に行ってきた写生大会ですが、今回初の試みとして平山画伯のアトリエのある鎌倉において写生教室を開きました。

去る11月29日、鎌倉市立第一小学校5年生約130人が、当館所蔵のガンダーラ仏頭を題材に写生に挑戦、平山美知子館長と東京藝術大学の宮廻正明教授が指導しました。この日題材となったのは2～6世紀頃にガンダーラ地方で制作された仏頭15点。児童は仏頭の周りに集まって座り、熱心に観察しながら鉛筆で絵を描いていきました。

本企画に先立ち、児童たちには平山画伯のアトリエを見学してもらいました。事前学習の成果もあり、この日の児童たちの題材のとりえ方は深く、それぞれの気持ちが込められた完成度の高い作品が仕上がりました。完成した絵は平山美知子館長と宮廻正明教授が一枚ずつ講評をしました。本物の題材を見て絵を描き、その楽しさを感じてもらいたいと企画されたこの教室は鎌倉市でも新聞などメディアに掲載され反響を呼びました。



被災地支援活動

東日本大震災で被災した子どもたちにアートの力で笑顔と元気を届けたい。ハケ岳南麓の美術館でつくるハケ岳ミュージアム協議会が主宰する支援活動に当館も参加しました。「子ども・笑顔・花咲くプロジェクト」と題し、昨年6月から6回にわたり宮城県気仙沼市の小学校で絵画や撮影のワークショップを開催しております。この表現活動を通して、多くの子どもたちが豊かな心を育てるよう願っています。

美術館スタッフ研修旅行後記

美術館ボランティア会は平山郁夫・美知子ご夫妻の一字ずつを頂き、また「美を育てる」の意を持たせて、2009年より「いくみ会」として再発足されました。平山郁夫先生は或るエッセイの中で「人はパンのみにて生きるにあらず、それは文化である」と書かれています。シルクロード上の数千年の歴史をたどる高邁な文化に育まれている当美術館のいくみ会員にとつての楽しみの一つは、恒例の研修バス旅行です。

2011年11月1日、風光明媚の地箱根の高名な2つの美術館を訪ねました。

ポーラ美術館は森の中に沈んでいるようなモダンな建築とレオナール・フジタ(藤田嗣治 1886-1968)の作品約200点を展覧中で、ほとんど他では見られないもの。常設展示ではピカソの青の時代の代表作『海辺の母子像』等数々の世界的名画に会う事が出来ました。ランチは同美術館内の明るいレストランにてフレンチに満足。

午後、成川美術館へ。箱根の絶景を一望の下に、ちょうど『平山郁夫と東京藝大の流れ』展が開催中で、平山先生の『敦煌鳴沙』四曲一対の大画面に見とれ、眠れる『楼蘭の美女』にもお会い出来ました。日本画の本流を受け継いだ平山先生の後輩の方々の作品も展示されており、なかなか個々の日本画家の名作を一堂に見られるもので

4 APRIL	5 MAY	6 JUNE
SUN 1 MON 2 TUE 3 WED 4 THU 5 FRI 6 SAT 7	SUN 1 MON 2 TUE 3 WED 4 THU 5 FRI 6 SAT 7	SUN 1 MON 2 TUE 3 WED 4 THU 5 FRI 6 SAT 7
8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
7 JULY	8 AUGUST	9 SEPTEMBER
SUN 1 MON 2 TUE 3 WED 4 THU 5 FRI 6 SAT 7	SUN 1 MON 2 TUE 3 WED 4 THU 5 FRI 6 SAT 7	SUN 1 MON 2 TUE 3 WED 4 THU 5 FRI 6 SAT 7
8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

「平山郁夫 世界遺産 高句麗古墳を描く」展

「東アジアの小さな仏たち」展

「玄奘との出会い」「平山郁夫中国の風景1」

講演会・シンポジウム

※5月1日は開館

※6/26日～28日は展示替えのため休館

※7・8・9月は休まず開館します

●…は閉館日です

■期間内イベントのお知らせ ※会場は全て平山郁夫シルクロード美術館

○平山郁夫回想展 仏の道を求めて 1

「玄奘との出会い」

会期：2012年6月29日(金)～11月5日(月)

○日中国交正常化40周年記念企画

「平山郁夫 中国の風景1」

会期：2012年6月29日(金)～11月5日(月)

○平山郁夫回想展 仏の道を求めて2

「シルクロード 大唐西域記完成までの道のり」

会期：2012年10月24日(水)～2013年3月11日(月)

○日中国交正常化40周年記念企画

「平山郁夫 中国の風景2 敦煌壁画」

会期：2012年10月24日(水)～2013年3月11日(月)



はなく良い機会を持つことが出来ました。また絢爛に咲き誇る菊を描いた森田りえ子氏の大作『秋蒼穹』は、折しも秋たけなわのこの季節のなかで特に印象的でした。

両美術館のキュレーターの方々の事前の解説ではそれぞれの美術館の成り立ち、所蔵作品への敬愛の気持ちがよく伝わってくるお話でした。2つの美術館の特別展に合わせる事が出来てハッピー、秋の好天の箱根の展望にラッキー、名物かまぼこ「鈴廣」のお土産にも満足、有意義な一日を楽しみました。

2012年も全員参加をめざして良き企画催行をいたしたく思っております。

(いくみ会会長 記)



公益財団法人

平山郁夫シルクロード美術館

平山郁夫シルクロード美術館ニュース 第14号 平成24年3月30日発行

発行 公益財団法人平山郁夫シルクロード美術館

〒408-0031 山梨県北杜市長坂町小荒間2000-6 Tel 0551-32-0225

URL <http://www.silkroad-museum.jp>